

社員各位

一般社団法人日本太陽エネルギー学会
表彰委員会委員長 秋澤 淳

太和田賞の創設について

本学会元会長を務められた太和田善久氏より200万円の寄付金をいただき、2021年度より表彰の中に太和田賞を創設する運びとなりました。

同氏の専門分野である太陽光発電の分野に関わる研究を対象とし、最優秀と評価された論文賞または学会賞（学術部門）として表彰されます。

副賞として20万円（源泉税込み）が授与されます。本賞は年間1件程度を想定し、資金が終了した時点で「太和田賞」は終了します。

太和田氏は2014年度～2017年度の4年間にわたって会長を務められ、その間に多くの企業に本学会団体会員への加入を推進する大きな貢献をされました。その業績に対し、2018年度に功労賞が授与されました。

今般太和田賞を創設するにあたりご貢献を讃えるため、同氏のご経歴を紹介いたします。



会員の皆様が本学会誌に奮って論文を投稿くださいますことを期待しております。

（太和田善久氏ご経歴）

工学博士（大阪大学，電気工学）

●ご略歴

- 1972年 大阪大学大学院修士課程有機化学専攻修了
- 同年 カネカ株式会社入社
- 1980年 大阪大学基礎工部電気工学科で薄膜Siの研究に従事
a-SiC/a-Siヘテロ接合太陽電池を発明，世界トップの効率達成
- 1983年 カネカに戻り民生用の太陽電池フレキシブルソーラー事業化
- 1992年 電子材料開発研究部長，電力用薄膜Si太陽電池の開発着手
- 1999年 兵庫県豊岡市にカネカソーラーテック（株）設立，生産能力20MW/年
電力用アモルファスSi/薄膜多結晶Siタンデム太陽電池生産
- 2000年 電材事業部長
- 2003年 エレクトロニクスRDセンター長
執行役員，常務理事研究開発副本部長，シニアフェローを経て
- 2012年 定年退職 大阪大学大学院カネカ基盤技術協働研究所招へい教授
- 2014年 日本太陽エネルギー学会会長就任
- 2018年 日本太陽エネルギー学会名誉会長就任，現在に至る

●研究開発分野

主として薄膜Si太陽電池の研究開発，電子材料開発

●受賞歴

- 1988年 井上春成賞 a-SiC/a-Siヘテロ接合光電池の商品化
- 2011年 第21回太陽光発電国際会議（PVSEC-21）特別賞